

◆ふるさとに学び 誇りと夢をもち
心あたたかく たくましい 小代っ子の育成◆

春の兆しが・・・ 今年度もゴールに向け



春一番の便りを目にし、一雨ごとに春が近づいているのを感じられる頃となってまいりました。新年の夢や目標に向かってスタートを切ってから二月、いよいよ学年のまとめや卒業式に向け、小代っ子も頑張り輝く日々を送っています。

未曾有の疫病発生から3年を迎える年度末となりました。少し進展が見られる中、引き続き感染症対策に努めながら教育活動を進めています。卒業生・在校生が、元気に笑顔で締めくくりができることを祈る気持ちで一杯です。まずは健康で。保護者・地域の皆様には、引き続きご支援やご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

◆「スキー教室」終了◆ご協力ありがとうございました

過年度のこの時期の通信を見ていると、スキー教室が計画通り実施できたのは、5年前の平成30年度でした。予想外の暖冬、荒天、コロナ禍等々あらゆる困難に遭遇し中止となってきました。今年度も第1回目は、大雪警報発令のため実施できずのスタートとなりました。



第2回目（2月2日）は、降雪の直後でゲレンデコンディションもよく、申し分のない状況のもとで実施できました。今シーズン最初、そして、何年かぶりに滑る児童にとっては、安心して滑れ、上達も早かったです。第3回目（2月10日）は、降雨の予報があり心配しましたが、午前中はやみまもあり、濡れることは少なかったのですが、食事後からは続けて降り、帰る際には染みってくる状況となりました。休憩も惜しんで元気に滑っている子ども達は、休憩時には「あー疲れた！」と良い表情で帰ってきたり、休んでいても「早く出よう、早く滑りたい。」と、意欲を見せたりする様子から、「今季の気持ちが、来季への好転につながるよう期待を込めて祈念します。」と記した文面（今年までの気持ち）が、開花したように感じました。

『楽しく・安全に滑れた』1回目から、『たくさん滑り・明日も滑りたい!!』と、今後への意欲へつながるスキー教室ができたことを嬉しく思います。スキー場によく映え、スキーがとてもよく似合う小代っ子の姿が、今シーズンは見られました。

静止、回転、速さ等の技術と併せて、リフトやレストハウスの方々へのあいさつを中心としたマナーも向上してきたことが聞かれ、めあての達成度も高い教室となりました。特に1年生は、最初の親子スキー教室後のめざましい進歩が見られ、ゲレンデの下の方には姿が見られなくなり、どんどん上を目指してレベルアップしていく姿には驚きました。そこには、向上心・意欲があったということを知り、頼もしく感じられました。

2回の実施に当たり、ご多用中にも関わらず快くご協力をいただき、安全にご指導いただきました保護者、小代スキークラブの皆様には、大変お世話になりました。各ご家庭の皆様には、板の搬入から道具の準備等スキー教室実施へのご理解・ご協力をいただき、大変ありがとうございました。また、期間を通じパトロールセンターや城山ベース、事務所やリフト乗り場等おじろスキー場の皆様のご理解・ご支援には厚く感謝申し上げます。



◆学校評価（保護者アンケート評価より）結果のお知らせ◆

本年度の学校評価を集計しましたので、お知らせいたします。学校では、これらの資料を元にしなが、学校評議員会(2月17日)を開催し、いただいたご意見を次年度の学校運営にかかしていくよう努めて参ります。

評価〔4：十分 3：おおむね十分 2：やや不十分 1：不十分〕			わからない。判断できない				
No.	評価の観点	評価内容	評 価				
			4	3	2	1	
1	開かれた学校づくり	オープンスクールなど住民参加の教育活動の推進や学校版教育環境会議の開催、学校だよりやホームページなどを通し、積極的に学校の様子を伝えようとしている。	13	24	4	0	1
2	生活指導	人間的なふれあいを大切にした指導の充実を図り、豊かな集団生活が営まれる学級・学校づくりをしている。また、いじめ防止に地域・家庭と連携して取り組んでいる。	9	28	5	0	0
3	キャリア教育	将来を見据えて自分を見つめ、夢や目標を持って、自分らしい生き方を考えさせる指導が計画的になされている。	8	22	10	0	2
4	危機管理体制の整備	自分の命を守るため、引き渡し等（避難訓練や交通安全教室等の実施）に努めるとともに、家庭や地域社会・関係機関と連携、協力体制が推進できている。	12	23	7	0	0
5	学校業務改善	勤務時間の適正化（定時退勤日等）に向けた具体的な取組が通信等で知らされている。	9	26	0	0	7
6	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導	どの児童にも確かな学力を身につけさせるため、めあてや学習の流れがわかるための工夫など、きめ細やかな指導をすすめている。	10	26	5	0	1
7	道徳・人権教育	人権意識を高め、実践力を培うため、「特別の教科 道徳」の時間の授業を公開したり、人権学習の発表をする場を設けたりするなど、道徳・人権教育の推進に努めている。	8	29	4	0	1
8	ふるさと教育体験活動	小代ならではの地域の人材（ふるさと教育応援団など）・素材（但馬牛、米づくり、スキー場など）を効果的に活用し体験的なふるさと教育を推進している。	16	18	7	0	1
9	町の取組推進	3つの町民運動「読書、あいさつ、体力づくり」の取組に基づき校内の取組を進めている。	13	25	4	0	0
10	小規模小学校の連携 小中一貫化教育	学校間スーパー連携チャレンジプランを充実させ、子ども達の学びの力を高めている。中学校と学習面や生活面で連携しあう教育を進め、効果をあげている。	12	19	8	1	2

*保護者・評議員の皆様には、お忙しい中アンケート等へのご協力をいただきありがとうございます。今後も地域に開かれた学校創りをめざし取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

<お知らせ> ☆卒業式 3月22日（水）9名の卒業生が巣立ちます

☆修了式 3月24日（金）45名の在校生が修了します

※ 今年度の卒業式もコロナ禍での実施となり、卒業生はマスクの着用等で従来のような行動ができませんが、全体的な形態は昨年を基に計画しています。そのため、ご来賓の皆様には、卒業生への祝福と激励を賜りたいところですが、ご臨席をいただけない式となります。そして、保護者の皆様には、卒業生の晴れの姿を見ていただけるよう進めていきます。趣旨をご理解いただきますよう何卒お願い申し上げます。



【お知らせ】本便りをHPにもあげていますので、ぜひご覧ください。

HP アドレス <http://ojiro-es.kami-hyogo.ed.jp/>

※ 学校へのご意見・ご要望があれば、お知らせください。☎ 97-2004

